

※ 卷頭言「道徳から動徳へ」

子どもの心の変容を促す仕掛けとは 丸岡慎弥

江戸琳派 酒井家の軌跡(第2回) 酒井抱美

今こそ日本の昔話を読み語りましょう!!(第3回) 浜島代志子

カラフル・パワフル・ひろせフル ~麗澤大学生と廃校再生プロジェクト~ 黒須里美

幼児期教育の大切さ 秦耕司

学校教育アドバイザーの喜び 廣瀬由美子

教師の落とし穴 藤林修一

こんな先生になって 川原容一

学校のちょっといい話⑩ 鍵山智子

「道徳から動徳へ」子どもの心の変容を促す仕掛けとは

立命館小学校 丸岡 慎弥



平成二十九年度告示

学習指導要領総則には、

道徳教育について、次

のように書かれています。

カナダの精神科医であるエリック・バーンは次のように言っています。

「他人と過去は変えられない。しかし、自分と未来は変えられる」

「学校における道徳教育は、特別の教科である道徳（以下「道徳科」という）を

かなめとして学校の教育活動全体を通じて行

うものであり、道徳科はもとより、各教科、

外国語活動、総合的な学習の時間及び特

別活動のそれぞれの特質に応じて、児童

の発達の段階を考慮して、適切な指導を

行わなければならぬ」

これは、「週に一度の道徳科を中心に据えながら、すべての学校教育活動で、子

どもたちの道徳性を養っていく」という

ことが書かれているわけです。つまり、

道徳科の授業だけで子どもたちの変容を

求めるのではなく、道徳科を中心とした

がら行う学校教育全体の道徳教育で子どもたちの変容を求めています。

どうして、そのように幅広く道徳教育が行われるのでしょうか。その答えを私は「子ども自身が心の変容を遂げるため」ととらえています。

私は以下の五点を大切にしています。

- 子どもたちがその時に学ぶべき学習内容を意図的に選定する（カリキュラムマネジメント）
- 子どもたちの感情を刺激する教材
- 自分自身の感情の動きからはじめる道徳授業（お話を聞いて心が動いたと思うところに線を引く。また感情の動きを○、×、△、◎で記号化する）
- 感情から生まれた問いで議論する。（考え方議論する道徳）
- 振り返りで他者の考えを取り入れたり自分を見つめたりすることで学びを振り返る。

どれも、子どもたちにとって「無理なく心を変容する」とことのできるきっかけとなるための工夫です。

江戸琳派 酒井家の軌跡（第二回）

江戸琳派繼承会理事長 酒井 抱美

一、伝統琳派の流れ

琳派は安土桃山時代の終りから江戸時代の初めにかけて、文化・芸術に理解のある徳川家康の助成を受け、本阿弥光悦・俵屋宗達の二人により、当初京都で始まった美術様式です。



酒井 抱美氏

當時は城の天井絵、襖絵などに金箔をふんだんに用いて、豪華絢爛 煌びやかな武家の絵画として広まりました。琳派は安土桃山時代の終りから江戸時代の初めにかけて、文化・芸術に理解のある徳川家康の助成を受け、本阿弥光悦・俵屋宗達の二人により、当初京都で始まった美術様式です。

琳派は安土桃山時代の終りから江戸時代の初めにかけて、文化・芸術に理解のある徳川家康の助成を受け、本阿弥光悦・俵屋宗達の二人により、当初京都で始まった美術様式です。

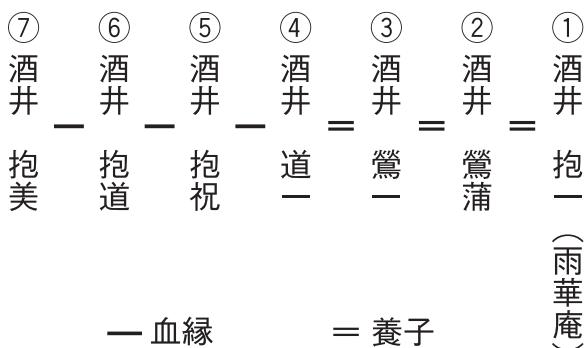
當時は城の天井絵、襖絵などに金箔をふんだんに用いて、豪華絢爛 煌びやかな武家の絵画として広まりました。琳派は安土桃山時代の終りから江戸時代の初めにかけて、文化・芸術に理解のある徳川家康の助成を受け、本阿弥光悦・俵屋宗達の二人により、当初京都で始まった美術様式です。

當時は城の天井絵、襖絵などに金箔をふんだんに用いて、豪華絢爛 煌びやかな武家の絵画として広まりました。琳派は安土桃山時代の終りから江戸時代の初めにかけて、文化・芸術に理解のある徳川家康の助成を受け、本阿弥光悦・俵屋宗達の二人により、当初京都で始まった美術様式です。



江戸琳派繼承会理事長 酒井 抱美

酒井家系列略図



開祖酒井抱一から三代目鶯組という形で継承されました。四代目以降は血縁となります。

私七代目抱美は絵は描きませんが、江戸琳派普及・発展の為、同志と共に講演会や作品の展示・展覧会を中心に全国で活動しています。私の本名「美伸」は祖父で酒井家五代目の「抱祝」が名付けました。

その心は、美しく伸びるということではなく、行く行くは美術の世界で活躍してほしいとの願いを込めてつけられた名前です。このことは抱祝亡きあと一時一緒に暮らした祖母「スガ」より常常聞かされて育ちました。そういうた使命感のような気持ちもあり、酒井家先祖のため、そして江戸琳派継承と発展のため、一人でも多くの皆様に琳派を理解してもらえるようにこれからも尽力してまいります。



五代 抱祝と妻スガの写真



五代 抱祝・双鶴図



四代 道一・桃太郎図

血縁の系譜としては四代目道一（祖々父）、五代目抱祝（祖父）、六代目抱道（叔父）そして私へと続きます。

道一は日本画家山本素堂の次男として生まれ、三代目鶯組と一緒に養子縁組をして四代目を継承いたしました。その後五代目抱祝、六代目抱道と続く訳ですが、この時の継承には面白い酒井家の秘話があります。

五代目抱祝が亡くなつた昭和三年に抱道が六代目を継承する訳ですが、抱祝は七人の子を儲けました。私の父親は一番下の七番目で七郎と名付けられました。当然、継承の対象人物が複数人いたため、どのように決めるかいいろいろと悩んだそうですが、じやんけんなどで決める訳にもいかず、最終的には「こつくりさん」で決めたそうです。漢字では「狐狽」と書き、これは狐などの靈を呼び出し、お告げを聞くと言われている西洋からの

一種の占いです。いざれにしても大の大人が車座になり真夜中に真剣に決めている場面を想像すると滑稽でもあります。思議な気がします。

決め方はともかく酒井家六代目は抱道（本名道治）に決まりました。抱道は中学校の校長を務めながら絵を描き続けました。しかし開祖抱一から五代目抱祝まで続いたいわゆる「江戸琳派」と趣が異なり、水墨画で表現する琳派を目指し「竹琳会」という会を創始し、一時会員二〇〇〇名ほどの大きな会を作りました（現在はありません）。

その後、水墨画の世界ではいろいろ受賞し、弟子をたくさん育てましたが、やはり抱一から続く酒井家江戸琳派とは多少異なる美の世界でした。これが酒井家江戸琳派は五代目抱祝で終わつたといわれる所以でもあります。抱道もそこら辺の意識はあつたのでしょ

うか。晩年、私に「絵を描かないか」と言つたのを、今でも思い出します。

三、弟子の育成

家に取りたてられました。師匠を尊敬する気持ちは非常に強いものがありました。抱一没後の其一は、鬼才と呼ぶに相応しく、抱一が確立した江戸琳派の「わび」「さび」というよりも力強さ、迫力を感じさせる作品が目立ちました。

ここまで江戸琳派の継承について書いてきましたが、今は私たちには少子高齢化、地球温暖化、自然破壊など非常に困難な時代に直面しています。

四、むすびに

これは、尊敬する抱一に対する、ある種の前向きな「対向心」であるたようになります。弟子であり、家来という立場的な感情が絵に表現されたのかかもしれません。琳派御三家と呼ばれる宗達、光琳、抱一ですが、最近では其一を加えた琳派四天王などと言われ始めています。それほど鈴木其一の評価は年々上がってきています。其一の作品は、江戸琳派の作品としては、群を抜いた多さと言われ、海外に流出した名品も多々あります。琳派の世界における鈴木其一の作品は、今後も注目に値します。

酒井抱一は、尾形光琳への自らの「私淑」という形の継承と異なり、多くの弟子を直接指導のもと育てました。抱一の門下には鈴木蠟潭、鈴木其一、池田孤邨、山本素堂、守村抱儀、水上景邨、田中抱一、酒井鶯甫など多くの弟子が集い、架け橋となるような美術史上重要な役割を果たしました。中でも一番弟子と言われる鈴木其一は、十八歳の時に抱一に弟子入りし、絶対師匠として抱一の後を追い続けました。もちろん抱一が私淑した尾形光琳も別格の師匠でした。其一は町人でしたが、抱一に認められ酒井家家臣となり、武

その教育の重要性を感じます。私たちの先人たちが失敗と成功の上に築きあげた今の平和を継承し続けること、そのためには教育者の先生方には力と智恵を絞つていただき、これからの方々、子どもたちを平和な世界へと導いていただくことを願います。「継承・継続は力なり」。先生方に期待いたします。

今こそ、日本の昔話を読み語りしましょ!! (第三回)

えほん教育協会会長
劇団天童代表 沖縄国際大学 社会人講師 浜島 代志子

日本五大昔話とは?

ドイツでグリムが収集した『赤ずきん』やアンデルセンの『みにくいアヒルの子』は知つてゐるのに日本の昔話を日本の子どもたちが知らない、馴染みがない。これが現状です。うすら寒い話ではありませんか。



室町末期から江戸初期にかけて成立したと言われている日本五大昔話は、桃太郎、かちかち山、猿蟹合戦、舌切り雀、花咲爺だとされています。私は桃太郎の真実を追いかけて二〇年以上経って、ようやくオリジナル絵本『ももたろう』

をえほん教育協会の第一号として自費出版し、おかげさまで喜んでいただいています。

が良いことだと教えていいのか、しつくり来ないままに原話が仇討ちだからといって、絵本読み語りを続けて良いのだろうかと。さるかにの絵本を聞いた子どもたちも「ふうん、それが何?」といつた顔。子どもたちに響いていないことは明らかです。「何か変よ、どうして?」。悩みに悩みました。

『猿蟹合戦』と敵討かたきうち

今回は、『猿蟹合戦』を取り上げます。長い間、ひつかかっていることがあります。それは、このお話全部を貫いているのが敵討かたきうちだとことです。仇討ちを子どもたちに教えていいものでしょうか。敵討かたきうちをすれば、また次の世代が敵討に

とうとう『猿蟹噸』を人形劇にして上演することに決めました。もやもやのままでは脚本は書けません。迷つたときは原点に返るのが原則です。このお話が語り継がれた意味があるはずです。文献に頼るのは一旦ストップしよう。昔話は、ふつうの人の暮らしの中から生まれたもので、愛、勇気、知恵、やさしさ、楽しさ、正義、忍耐や我慢など人の道を教える役割を持っているのです。昔話に登場する動物たちは、人間を表しているのだから、そこからアプローチしよう。「カニ」は誰を表しているのか。「カニ」は人間にとつてどういう存在なのか。「柿」は人にとつてどんな存在なのか？

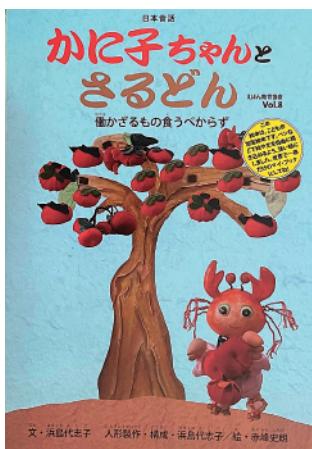
柿育てを応援する「臼、蜂、栗、うんこ」、処によつては「ワカメ、菜切り包丁」などは、人にとってどのような役割があるのか？「サル」は誰、何を表すのか？ 気持ちを真っさらになると、次々に答えが現れてきました。

「カニ」は、稻を作る百姓、「柿」はあまり手入れをしないでも実がなる美味しい食べ物、干し柿にすれば保存食になる。柿育てを手伝ってくれる「臼」は神様にお供えするお餅をつく神聖なもの、「うんこ」は肥料、「クリ」は保存食、「蜂」は雄蕊おしべと雌蕊めしべを媒介して実を成らす大事な役割がある。誰もがなくてはならない存在。「サル」は何を表すのか。熟れた

うんこ」、処によつては「ワカメ、菜切り包丁」などは、人にとってどのような役割があるのか？「サル」は誰、何を表すのか？ 気持ちを真っさらになると、次々に答えが現れてきました。

「カニ」は、稻を作る百姓、「柿」はあまり手入れをしないでも実がなる美味しい食べ物、干し柿にすれば保存食になる。柿育てを手伝ってくれる「臼」は神聖なもの、「うんこ」は肥料、「クリ」は保存食、「蜂」は雄蕊おしべと雌蕊めしべを媒介して実を成らす大事な役割がある。誰もがなくてはならない存在。「サル」は何を表すのか。熟れた柿を食べてしまう悪い奴。働く自然に生まれ、良い生きないで横取りするのだから

うんこ」、処によつては「ワカメ、菜切り包丁」などは、人にとってどのような役割があるのか？「サル」は誰、何を表すのか？ 気持ちを真っさらになると、次々に答えが現れてきました。



『かに子ちゃんとさるどん』

絵本を創りました。

♪早く芽を出せ 柿の種
出さんとハサミでほじくる
ぞ♪

かに子ちゃんは成る木責め
の歌を歌いながら柿を育てます。
ちよんぎるぞ、くすぐるぞ、ぶつ
たぎるぞ、とエスカレートして
いきます。柿を脅迫していく
ように思いますが、作物に
かける願いと愛情の表れで、
声かけをすればするほど作物
は早く大きくなると言われます。

決まつたと言われます。サル
をやつつける場面では、助つ
人それぞれが得意技を繰り出
します。長い人生には戦わな
ければならない時があります。
そのために備えが必要だとい
うことです。サルをペっちゃ
んこにするのは白どんです。
白は神様にお供えする餅をつ
く神事にかかるからだと思つ
ています。

絵本『じごくのそうべえ』

関西落語を元にした『じご
くのそうべえ』という子ども
たちに大人気の絵本がありま
す。地獄の閻魔大王は淨玻璃
の鏡に生きていた時の行いが
すべて映るのを見てから、地
獄行きか極楽行きかを決めます。
人には隠しても行いのすべて
が見えてしまう恐ろしい鏡の
場面で子どもたちに真顔で語
りかけます。「誰も見てないか
らといってズルしてない?」「う
そをついて人を騙してない?
大丈夫?」「大丈夫だよ!」つ
く場面でかに子ちゃん、臼どん、
蜂どん、クリどん、うんこど
んが作戦会議をします。皆が
円になっています。これは古
事記からの発想です。神々は
何か事が起きる度に会議をし、
それを天照大神に話して事が

いお面をかぶつて子どもに迫
ります。この時ばかりは、正
しく生きよう、悪いことはし
ない、と決意するようです。
昔はお寺の屏風に地獄絵が描
いてあり、とても怖かつたも
のです。この絵本の中では糞
尿地獄、針の山に行き、鬼に
喰われてしまいますが、技と
頓智でこの世に帰ってきます。
「ああ、よかつた」絵本の中で
地獄に行つた子どもたちは、
良いことをして生きてゆこう
という氣になるのです。

子どもたちはムキになつて「悪
いことしてないよ!」と声を
はりあげるのです。東北のナ
マハゲも「良い子にしてるか?
悪さしてねえか?」などと怖
いかがでしようか。

カラフル・パワフル・ひろせフル

麗澤大学生と廃校再生プロジェクト

麗澤大学国際学部 教授 黒須 里美

三方よしとSDGsの 廃校再生プロジェクト

「カラフル・パワフル・ひろせフル」というテーマのもと、

学生たちがアートを駆使して
創り上げたイベントが二〇二一

二年一月一二日に旧広瀬小学校で開催されました。このイベントは、学生たちが大学の教室を飛び出し、一年をかけて企画したプロジェクトの成果が実現した瞬間でした。

舞台となつたのは、滋賀県高島市安曇川町にある旧広瀬小学校。一八八六年に創立され、二〇一六年三月に閉校となり、現在はモラロジー道徳教育財団が「淡海湖西生涯学習センター」として運営している施設です。

遠くて、何もなく、寒くて、不便。正直に言えば、初めてセンターを訪れた際、私はこんな感想を抱いていました。「一度足を運んでみないとわからぬ」

黒須 里美氏



「二〇二一年度地域連携実習」

において、「学生ならではの視点で残された校舎を有効活用するアイデアを考えてほしい」という課題で「三方よしとSDGsの廃校再生プロジェクト」がスタートしました。私自身も担当教員として、大学教員としての「コンフォートゾーン（快適な領域）」を飛び出してこの挑戦に取り組みました。

私の心配をよそに、学生たちは大胆な想像力を發揮し、校内、校庭、体育館の隅々まで、まるで小学生に戻ったかのように駆け回り、楽しんでいました。遠くにあるからこそ、大学の日常から解放され、何もないからこそ、安曇川の夕陽や夜空が心に深く残ることを感じたのです。たった二日

市を訪問したのは冬が本格化し始めた二〇二一年一二月の中ごろでした。そして、「場」の力を感じたのはまさにこの時でした。

た一二人の学生とともに高島市を訪問したのは冬が本格化し始めた二〇二一年一二月の中ごろでした。そして、「場」の力を感じたのはまさにこの時でした。

間の体験ながら、学生たちは「かつて響いていた『子どもたちの声』を取り戻したい」という思いや、「安曇川の魅力をもつと多くの人々に伝えたい」という強い思いを持ちました。その後も、何回か訪れる中で、「ひろせ」の魅力は増し、四季折々の自然美を見せる安曇川で、誰もが持つ「小学校」体験を重ね、センターや地域の皆さんとの交流も深めました。こうした「場」と「人」とのつながりの魅力が学生たちの活動の原動力となり、「ひろせフル（Hirose-full）」な企画が生まれてきました。

驚くべき「学生力」

一年生としての授業を終えた学生たちは二年生に進級し、本格的に企画アイデアを実現

しようという動きが二〇二二年春に始まりました。「千葉からこんな遠くに来るなんて、なぜ？」と、最初は地元の高校生ボランティアも驚いたそうです。学生たちが滋賀県の廃校再生に情熱を注ぐ理由や、地域社会で受け入れられるのか、安がありました。しかし、学生たちは現地訪問や関係者との対話を通じて、通っていた小学校が廃校になるという現実を「自分事化」し、外部からの「よその」という意識を払拭しました。学生たちがアイデアを提案し、行動を起こすたびに、支援の輪が広まり、多くの「縁」が生まれました。

滋賀県の皆様とのオンライン会議、Google クラスルームや LINE を活用した情報共有、さらには Instagram を通じた活動紹介などがその例です。また、今回のイベントで象徴的な存在となつた「手形アート」は、柏キャンパスの大学生だけでなく、麗澤幼稚園児からモラロジー道徳教育財団の職員まで巻き込んでプレイベントを

シナリオが実現していく過程は、何もなかつた場所に「何か動き始めたいる！」という期待とワクワク感に満ちていました。 「学生力」とでも表現すべき「ひろせ」の魅力が、地域や地域の障壁、肩書きに囚われずに前進できる特別な力を秘めています。また、デジタル世代の彼らは、一昔前の学生にはない情報拡散や共のツールも持っています。SION力は、「場」が提供する機会を活かすことどれほど想像力、即応力、コミュニケーション力は、それを間近で見輝くものか、それを間近で見ることができました。

二〇〇名の参加者を迎えるという目標を達成し、イベントは無事に終了しました。ラジオアート、手形アート、フルイドアート、手形アート、ライブアート、ライブペインティング、漫画家ライブイベント、キヤンバスツアーや、そして感動の音楽のフィナーレ。「子どもたちの声」が絶えない一日となりました。地元の参加者とセンターの皆さまから高い

評価を受けたことは本当に喜ばしいことでした。学生たちは、

通常の授業や部活動、委員会、アルバイトなどの日常的な制約をこなしながら準備を進め、

学部を超えたチームワークを築き上げ、地元コミュニティや卒業生とのネットワークを持たずに試行錯誤しました。

その過程で彼らは心が折れそうになつたり、力不足を感じたり、プレッシャーに負けそうになつたりしたことが何度もありました。しかし、イベントが終了した後の涙と笑顔からは、彼らの達成感と成長がはつきりと伝わってきました。

ひろせフル第二弾へ

廃校再生プロジェクトは終了しましたが、その成果と学びは、学生たちにとつても、

です。

現在、プロジェクトの四人の学生が新メンバーを募り、第二のひろせフルを企画中です。一二月二日（土）、再びどんなドラマが展開するか、楽しみ

として私にとつても貴重なもので。大学教員として、授業外での学び、現実の問題への取り組み、そして「場」の力を最大限に活用する重要性を再認識しました。学生たちの情熱と行動力が、地域社会との協力とクリエイティブなアイデアで何ができるかを示してくれました。今回のプロジェクトは超少子高齢化社会と人間減少を迎える一つの象徴的なものとも思われます。廃校再生も地域活性化も、日本中で深刻な課題です。地域を超えた学生力はますます必要とされています。



2022年 ひろせフル イベントの様子



協力してくださった音楽家・画家・漫画家、地元高校生の皆さんと



左側は高島市出身の漫画家古本ゆうやさんが旧広瀬小学校の校門からのイメージを漫画にしてくださったもの



黒須ゼミ合宿、現在の旧広瀬小学校体育館

幼児期教育の大切さ



秦 耕司 氏

子育て・教育の大切さが今ほど声高に呼ばれなくてはならない時はないと思います。

今の日本の子育て・教育の「成果」は、受験勉強から解放され学業の最終段階にある状況を見れば明らかです。一人の人間として身に付けておくべき基本的な能力—自立心、思考力、判断力、コミュニケーション力、体力、：が大幅に減退し、代って国際化時代に逆行する受身志向が著しく強くなっています。

例えば睡眠です。夜遅くまで明るい照明の下で起きていればホルモンの分泌量が低下し、身体の正常な発達に影響が出ます。朝寝坊をすれば体内時計と自然時間のズレが大きくなつて、朝からボーッとして元気がなくなります。

また赤ちゃんにとつてお母さんの懷に抱かれるのは健全な成長の礎です。お母さんの

生活環境が激変し、生活習慣が変わり、体験と結び付いた知識が減少し、世代間共通のマナーのことすら常識が同じにくくなつてきています。

私たち人類は生物進化の産物ですから、進化の法則によつて生存し成長しています。進化の法則に適合しない生活をしていれば、健康を害し精神面にも支障を来たすのは当然でしょう。

面でも支障を来たすのは当然であります。

優しい眼差しと微笑みと声かけ、肌の温かさと柔らかさと匂い。赤ちゃんはこれらに包まれて喜びや安心感などを感じるのです。母子の絆は赤ちゃんが社会人へと育つていく出発点であり、道徳心涵養の原点です。人間の赤ちゃんが未熟な段階で生まれてくるということは、社会人として成長する要因となる刺激を大人たちが与えなくてはならない（啓育）といふことかも知れません。

今の子どもたちを取り囲んでいる環境は意外なほどに深刻な面があります。脳の働きが形成される最も大切な幼児期に、毎日の生活が時間単位でミニユース化されており、成長の糧となる集団遊びの場所もなく時間もなく仲間もいません。親とゆっくり過ごす時間がさえ少ないのであります。このよ

モラロジー道徳教育財団 学校教育アドバイザー
福岡県教育者モラロジー研究会 会長

秦 耕司

うな状況下にあつて、私たちはどういう取り組みをすればよいのでしょうか。

それには同じ一つの地域に居住する人が、進化の法則に適った正しい子育て・教育の知識を常識として身に付け、地域ぐるみで取り組む大勢を造ることです。最も確実な方法としては、一つの校区に焦点を絞り、「道徳教育研究会」を軸として園や公民館で定期的に学習会を開いて住民共通の意識を培うことです。

このようないつのモデルとなり得るような地区を造ることができるのは、私たちモラロジー財団であればこそではないでしょうか。私たち福岡県では、まだまだ不十分ですが、これを目標に準備を進めているところです。

学校教育アドバイザーの喜び

モラロジー道徳教育財団 学校教育アドバイザー
東京都教育者モラロジー研究会会長 元公立小学校長(東京都)

廣瀬 由美子

挫折のスタートから五〇年、
教職を全うできた今は
感謝の恩返し



廣瀬
由美子氏

私は、大学を卒業すると、すぐ小学校の六年生担任となっていました。教育実習では順調に授業をこなし、子どもたちと楽しく過ごしたので、愚かにも自信満々でした。教頭先生からも「いい授業だね」とほめられました。ところが、二学期半ば、男子三人が授業中

形だけ流していたのです。「困った子」と叱るだけでは心に響きません。他の子たちは心配そうに、三人に「やめなよ」と言つてくれます。職場の先輩たちは、放課後、たびたび私の話を聴き、助言してくださいました。それでも三人は、私にだけ、抵抗します。

ある日「俺たちと決闘して勝つたら言う事聞いてやる」といふことで、砂場で三人を相手

に漫畫を描くようになったのです。
「漫畫は休み時間にしなさい。
ちゃんと勉強しなさい」と叱つても、「うるせえ。おめえなんか、頭と顔がいいやつしか相手にしてねえじやねえか！俺ら漫畫家になるからいいんだ！」と授業に参加しません。今思えば、私は、一人ひとりの表情や様子から子どもを理解せず、辛く、情けなく、教師を続ける資格はないと思いました。それでも辞めずに、卒業式で全員を祝福できたのは、温かく厳しく見守り育ててくれた先輩の方々と、三人を最後まで支えてくれた家族と子どもたちのおかげです。

もつといい教師になりたい。子どもたちの役に立つ教師になりたい。未熟な私でも、知識や技術を磨き、どの子にも心を通わせてしつかり教える人間になりたい。教職一年目に肚を越えることができました。

私は賢さが足りず、不器用な人間で、失敗や挫折の体験

に取つ組み合いをしました。お互に身体でぶつかり合いながら、最後は互いに疲れ果て、しりもち状態で目を合わせて終わりました。

辛く、情けなく、教師を続ける資格はないと思いました。大変よい経験でした。人はみな成長し続けるという確信、支える難しさと喜び、支えられる喜びを新たに実感しました。

多様な子どもと丁寧に関わる経験は教師としての宝です。障害の理解や交流体験は人のやさしさを育てるのです。若い先生方は職場のリーダーにも挑戦してください。責任が重くなり、大変ですが、その分感動も増えます。私は校長職を拝命して、喜びも増えました。さらに、学校教育アドバイザーに就かせていただけたことで、定年後も自分らしく働く意欲を持続しています。

教師の落とし穴



藤林 修一 氏

モラロジーの教え

私は、昭和三十七年夏、駆け出したばかりの教師でしたが、モラロジーを学んでいる知人から誘われ、教育者対象のモラロジーの学習を一週間の合宿で、千葉県柏市のモラロジー研究所（当時の名称）で受講しました。教師になる少し前から、モラロジーの教えを聞きかけておりましたので、これから自分の

同志の先生を結集するようにと言われました。私の甘い考えが吹っ飛びました。千英先生には、「教育は児童・生徒の心に仁愛の精神を植え付けることだ」「心に火をともすことだ」と教えて頂きました。「知識・技能を教えるだけではだめだ」ともいわ

モラロジー道徳教育財団 学校教育アドバイザー
元公立中学校校長（京都）

藤林 修一

れました。

翌年、私は頑張って先生をお誘いました。当時、京都には、日教組の強い活動に対抗して、京都教師会という穩健な思想の団体がありました。その先生の多くが、モラロジー教育に関心を寄せていましたので、お誘いすることが出来たのです。それ以来、会場が全国に広がり、六十年にわたり、「道徳教育研究会」は続いています。毎年、私は、どこかの会場に複数回、色々な立場で参加させてもらっています。

長、廣池千英先生から、翌年の昭和三十八年から、毎夏、岐阜県の瑞浪市にあるモラロジーの瑞浪生涯学習センターで合宿して教育者研究会を開くと熱意を込めて話され、一人でも多くの同志の先生を結集するようにと

私は、母校の教育大学附属に十七年間も勤務させて頂き、卒業生の同窓会に度々招待を受け、

自分の不徳に気づく

幸運な時を頂いておりますが、ある学年の同窓会での出来事です。その学年は三年に一度大勢が集まって賑やかに楽しいひと時をもっていました。卒業から九年目の同窓会の時です。卒業後初めて参加したA君が、私の顔を見るなり、挨拶もせず部屋を出て行ったのです。驚いて受け付に問い合わせると、「藤林先生がいるので帰る。返金してくれ」と言ってトランブつっていました。突然のハプニングで、動搖しましたが、ゆっくり話をしてみると、在学中の三年間、毎学期の通知簿の英語の欄が一で、私の英語の授業を受けるのが苦痛であったといったのです。九年たつても、トラウマは、消えていないうことでした。当時は、相対評価で、割合を決められ、必ず何名かの生徒に一をつけなければならなかつたのです。オ

ル五の生徒はよく覚えておりました。付属の生徒は、皆良く勉強していましたので、本当は一に相当する子は一人もいませんでした。

ながら私の頭に残つていません

でした。廣池千英先生の「仁愛」の精神からは、真逆の心遣いだつたのです。

付属の生徒は、皆良く勉強していましたので、本当

は一に相当する子は一人もいませんでした。

オール五の生徒

はほつておいても、オール一の生徒は、しつかりフォローをしてやる必要があつたのですが、

毎回、機械的に評価をする癖がついてしまって、残酷な教師になつっていました。幸い、彼は、高校からは英語に関心を持ち、英語検定の一級がとれるほど頑張っていたのです。その日、私の至らなかつたことを心底お詫びし、お互の心が通じ合い、仲直りが出来ました。あの日、話し合わずに別れていたら一生、自分の不徳に気づかずにつながつたことを思うとぞつとします。

教育者は失敗が許されない厳しい仕事です。人間ですから失敗も犯しますが、その都度、我を反省して、自ら慈悲を体現出来るように精進したいものです。

こんな先生になつて

学校教育センター長 川原 容一

中学校に勤務していた時の話である。入学した一年生に、問いかけてみた。

「今まで印象的だった先生って、どんな先生？」

彼らは、日々に教えてくれた。「よいクラスにするために、男女が協力できて、楽しく勉強したり、遊んだりできるよう先生が頑張ってくれた。先生はいつも側にいてくれた」

「君はやせっぽちだから、オリーブだねとパパイの声で話してくれて、いつの間にか先生のおかげで、あだ名がオリーブになってしまった。楽しい先生だつた」

「私のことをいつも苗字で呼んでいたけれど、あるとき『ブシ』とニックネームで呼んでくれた。うれしかった」

「分数や少數の計算がわからなくなつてしまつた時、わかるまで先生は付き合つてくれた」「嫌いだった体育を、先生は、側に立つて何度も挑戦させてくれた。体育を好きにしてくれた」

「学級会ではあまり発表などしなかつたけれど、意見を言いやすい雰囲気で友だちが皆眞剣に意見を言うものだから私も頑張るようになれた」

「班長がリコールされそうになつた時、先生はリコール反対に回つて守つてくれた」

「私は、先生の影響で、学級を良くしていく工夫をしてみたといいう気持ちになつた。消極的だった私が、いつの間にか積極的になつていつた」

メルマガ配信

川原学校教育センター長
が自ら記事を書き、毎月二回配信しています。何のためか、もちろん、先生方を応援したいからです。是非ご登録ください。

配信希望の方は、
以下のQRコード
より申し込みください。
<http://bit.ly/sc-moralogy>



「いつも私の教室に授業を見に来歩いて、私の担任から教え方を学んでいた先生が、一年経つたら私の担任になつてくれて、うれしかった」

「最後に、皆にお礼を言つた。私も皆さんに紹介してくれた先生のようになれる努力をします。ありがとうございます。」

学校のちょっとといい話(31)



千葉県我孫子市立
我孫子第二小学校
元校長
鍵山 智子

「先生、私の宝物、
見せてあげようか?」

二十年程前、教育の現場から出向し、私は児童相談所で四年間、児童福祉司として働いていた。ある日「先生、私の宝物、見せてあげようか?」と小学六年生のS子に、一時保護所の教室で声をかけられた。「宝物? ゼひ見せてほしいなあ」と彼女に伝えた。すると彼女は、保護所の先生にお願いして、預けていた一枚の色紙を大事そうに持ってきた。

その色紙には、「S子さん に贈る言葉 金子みすゞの詩『私と小鳥と鈴と』(国語の教科書掲載)」が、達筆な文字で記されていた。担任の先生から貰ったという色紙を私に見せながら、彼女は、「私の宝物、素敵でしょ?」と満面の笑顔を見せた。入所当時の彼女は、髪を染め、服装も派手で、化粧もしていたので、随分、大人びて見えたが、この時の笑顔は年齢にふさわしい子どもらしい表情であつた。

S子ばかりでなく、本人が勝手に家に居場所がないと感じ、寂しさを紛らわすため、受け入れてくれるところがあれば、時や人を選ばず、どこにでも居場所を求め、家を飛び出してしまう子どもたちに多く出会つた。

S子は、「私ね、あんまり学校に行かなかったの。家出を何回もして、家にも帰らず年上の友だちの家とかに泊まり歩いていたら、警察に補導されて、ここに来ることになつたんだあ」。そう語るS子は、入所当時の鋭い目つきや職員に暴言をぶつけていた同じ児童とは、到底思えない素直な姿であった。私は、彼女に「素敵で、S子がとつてもうらやましいな」と告げると、「いいでしょう。もっと担任の先生と話しておけばよかつた」とつぶやいていた。

子どもも大人も人間関係がうまくいかないとき、家族に癒されることで乗り越えることがほとんどであろうが、家族間がうまくいかないときに第三者の誠実な大人に会うことによって、その生き方までも変えることがある。教師の言葉に励まされ、逆に何気ない教師の一言に傷ついてしまうこともある。だからこそ、人として自分を見つめなおし、教師の一人として一言の言葉の重みを常に意識して目の前の子どもたちに寄り添い、支えることのできる人がなれるよう、学びを継続していくことが大切だと思う。

になること。

そして、子どもが成長する姿を見せられた大人たちも関わり方が柔軟になり、やがて家族の再構築がなされていくことにつながるということである。

全国道徳祭2024 in 柏

2024.2.11(日)

時間：13:00～17:00

会場：麗澤大学キャンパス

道徳で先生を応援する!!

入場料1500円
(当日支払い)

事前申し込みで...
模擬授業の指導案集
(当日販売500円)
を無料提供

12の教材提供

実践済みの道徳教材を少人数対応で説明。教材は中心教材に補助教材、まさかの教材もあり、学校生活に繋がる授業づくりへのサポートとなります。

12の模擬授業

全国レベルの実践者が20分程度の模擬授業を実施。

生徒役は大学生。レベルの高い実践者の道徳授業を体感できます。今からワクワクです。

小中高の先生はもちろん
保育園・幼稚園の先生や
教師を目指す学生も参加。
学校教育だけではなく
すべての子育て支援・教育活動
を応援します！

柏道徳祭り実行委員会

お問い合わせ：04-7173-3219

〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘2丁目1番1号

アクセス：南柏駅東口より東武バス①番乗り場より乗車
「麗澤大学前」にて下車 徒歩1分

参加申し込み⇒



編集長
大久保 俊輝

◆編集後記◆

今、現実に起きている課題を解決できる学びを皆さんに体感したことありますか。青年の自死、家庭内殺人、いじめや不登校を確実に減少させ予防が期待される教科は、紛れもなく「特別な教科道徳」のはずです。しかし、実際は悪化の一途です。「理不尽ないじめに負けない耐性」や「上手にスルーする対応」をなぜ学校では学ばないのでしょうか。

どの記事からも「良いものは残したい！残さねばならない！それは私がやります！」という意志が伝わってきます。その熱き思いが、文章や写真を通して多くの感動を呼び起こし、薦発して、新たな啓発教育の歴史が刻まれていくと確信します。

本財団のスローガンである「道徳で人と社会を幸せに」を参加者に是非、実体感して頂くために、「全国道徳祭二〇二四 in 柏」が開催されます。スタッフ一同、総力を挙げて参ります。乞うご期待ください！会場で「えがお」で、お待ちしております。

